

昭和二十年五月

天巖戸戦鬪司令所取締ニ關スル規定

天巖戸戦鬪司令所



天皇陛下御願司今所取締ニ關スル規定本冊ニ通定ム

昭和三年五月五日

第三軍參謀長 長 勇

目次

第一章 總則

第二章 洞窟處出入ニ關スル事項

第三章 起居容儀ニ關スル事項

第四章 警戒ニ關スル事項

第五章 衛生ニ關スル事項

第六章 防謀ニ關スル事項

第七章 瓦斯防護ニ關スル事項

第八章 其他

第一章 總則

第一條 本規定ハ天、嵐、戸、戰、闘、司、令、所、以、
下、單、一、戰、斗、司、令、所、ト、略、稱、ス、内、ニ、在、ル、各、部、隊、ノ、
取、締、ニ、關、シ、作、戰、要、務、令、軍、隊、内、務、令、其、
他、關、係、諸、條、規、外、ハ、必、要、事、項、ノ、ミ、テ、規、定、ス、

第二章

洞窟出入ニ關スル事項

第一條

各坑道、出入ヲ許可スモ、ハ、戰、斗、司、令、所

内ニ服務シタル各部隊、將校以下トシ、其他ノ出
入ニ關シテハ左記各號ニ依ルモノトシ、

一、面談ナキ他部隊、將校以下ハ、確實ナル客員

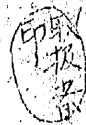
證ナキ限リ出入ヲ許可セズ

二、戰、斗、司、令、所、内、ニ、在、ル、雇、傭、人、(屬、誌、ヲ、含、ム)ハ、指

定、入、口、ヲ、定、メ、ル、左、記、様、式、ノ、出、入、許、可、證、ヲ、交

付ス

戦守司令所出入許可證



身分

右官軍各屬管理部勤務ニテハ五

ノ口出入ヲ許可ス

昭和三年五月四日

副官部職印

3. 身分係護ノミニ止ル囑託ハ其ノ用件ニ依リ出入ヲ許

シタル行動ヲ許サズ

4. 一般地方人ハ如何ナル用務ト雖モ用ハ欲メニ要入

セシメズ

夜間下士官以下ヲ洞窟外ニ出入セシムル時ハ下士

官以上ノ指揮ノ下ニ容員施セシムルモノトシ各部隊

(各部)先任將校ニ於テ指示スルモノトス

第三條 各坑道出入口、出入制限ヲ左ノ通リ定ム

第一坑道出入口 連司令部 山兵團、鈴木兵團、軍通信

第二坑道出入口 防衛隊本部、先服務者ノミ

第三坑道出入口 葛橋及衛兵ノミ

第四坑道出入口 山兵團、鈴木兵團、野隊

第五坑道出入口 連司令部、軍通信、第二野戰築城隊

第四條 戦司令部所配備要圖附圖第一ノ如シ

第五條 起居容儀ニ關スル事項

第一、壕内ニ於テハ特ニ左ノ事項ヲ嚴守スルモノトス

一、事務ノ現ニ執リ在ルモノ外、荷燈スベシ

二、水（使用後）壕内ニ捨ツルコトヲ禁ム

三、大小便ハ定メテ場所以外ニ於テラスベカラス

四、西語ハ公間禁、明瞭ニ通話音聲ヲ注意スルモノトス

五月七日
加八

5 別命ヲ受テ電所及其附近ニ立入ルヲ禁ス

6 軍人軍屬ヲ問フス標準語以外ノ使用ヲ禁ス

(一) 諷刺語及テ談話ニ於テハ間諜ト見做シ處ス

7 幕外電燈線 電話線ニ濡テ拭 或ハ洗濯物等

ヲ掛ケルハカラス

8 壕内ニ於テ高温度ノ場合ニ限リ上半身裸体トナリ

又半袴ヲ使用スルコトヲ得

第六條 壕内交通路ノ制限及壕内ノ敬禮(左ノ通り)

實施スヘシ

1 第三側ノ開放シ開放側ノ五木ヨリ内側ニ兵器

及物品ヲ懸ケタルヲ禁ス

2 軍司令官及諸兵衛通行ノ場合ハ通行者ハ事

務机ノ一側ニ寄リ他ハ其場ニ姿勢ヲ正シ敬禮ヲ

行フヘシ 但シ就寝中 若ハ其儘ノ姿勢ニ以

テ敬禮ヲ行フモノトス

2. 緊急ノ場合ハ某參謀或ハ某職ト呼稱シ緊急

止レト呼ブ此場合ハ通行者ハ事務机ノ一側ニ

寄リ停止シ通行終ルヲ待ツテ行動ス

3. 普通ノ場合ハ某參謀若クハ某職右(左)ニ寄リ

ト呼ブ通行者ハ一側ヲ開キ通行ヲ容易ナラシムトス

第七條 戰鬥司令所内ニハ各部隊毎ニ日直將校 下士官

及巡察將校ヲ設ケ服務セラルモノトス

第八條 壕内ニ於ケル日課時限ヲ左ノ通り定ム

但シ炊事並交通路トノ關係ニ依リ食事運搬時

間ハ時々変更ス

起 床

〇六三〇

日 朝 食 呼

〇六三〇

朝 食

〇八〇〇

晝 食 一三〇〇

日夕 突呼 二〇〇〇

夕 人食 二一〇〇

第九條 突呼ハ各部庶務係下士官ニ於テ人員換

査シ異狀ノ有無ヲ日直士官ニ報告ス

突呼後ハ戰果ニユース等ヲ傳達シ且精神教育

又乾布麻ヲ擦ル五分間ヲ實施スルモトス

第十條 各部隊(各部)毎ニ不寢番ヲ設ケ服務セシム

トス

第十一條 是レハ配電ハ軍管理部長ノ許可ナク各

隊(各部)ニ於テ除線又ハ配線スルヲ許サス

第十二條 戰鬥司令所内坑道改変並ニ設備委員ヲ

左ノ通り定ム

ノ全般ノ計画及統制 早川大尉 坂口大尉

2 實行監督

武田 大尉

3 電氣並通風掛

原 中尉

右委員ニ所票ノ下士官ヲ助手トシテ使用スルヲ得
本委員ハ軍監官理部長ノ直轄ニシテ改変ヲ含ミ
總ラ官理部長ノ命ヲ受クルモノトス

第十三條

瀘過水場ニ於ケル各部隊ノ飲料水ノ汲取時
間及制限ヲ左ノ通り定ム

午前——軍司令部 午後——山兵團 鈴木兵團

飲料水ノ汲取ハ概ネ各人一日水筒ニ一杯宛トシ

之以上ノ汲取ヲ禁ス

前項各人ノ飲料水ハ炊事入口ニ在ル瀘過水ヲ

汲取ルモノトシ其ノ汲取時間ハロセバロー一大ヨリ迄トス

一六ヨリ以降ノ汲取ヲ禁ス

第十四條 食事ハ各部隊ハ軍司令部ニ在リテ各坑道

担任区分毎）毎ニ管理部炊事ヨリ受領分配スルモノトス
食事受領者ニ努メテ兵及男産傭人ヲ以テ充
ツルモノトス

第十五條 壕内ニ於ケル入浴場ハ將官幕僚用ト一般

浴場トシ其入浴區分附表第一ノ如シ

將官幕僚用浴場ハ一般將校以下ノ使用ヲ禁ス

壕内浴場ノ構造ニ鎧ニ努メテ水ノ節約ヲ図ルヘシ

第十六條 便所ハ將官用幕僚用ト一般便所ニ区カス

其ノ使用区分ヲ嚴守スルモノトス

第十七條 便所掃除受持担任区域ヲ左ノ通定ム

第一坑道入口 軍司令部情報 軍通信ノ交互トス

第二及第三坑道入口 軍管理部衛兵

第四坑道入口 山兵団司令部

第五坑道入口 是將官用幕僚用 軍管理部

壕内便所ニ在リテハ更ニ指示ス

第十八條 壕内特ニ通路清掃ハ各部隊(各部)ニ

受持担任地域ヲ實施スルモノトシ寢室ヲ有スル

通路ハ寢室使用ノ各部隊(各部)ニ於テ實施ス

ルモノトス 特ニ煙草ノ吸殻及紙屑等ニ銚詰

殻等ヲ散乱セシメズ 受持担任区域内ハ常に清

潔ナラシムルモノトス

第十九條 通路附近ニハ一切通路ノ妨害トナルモノ

ヲ掛ケ又ハ置クベカラズ 常に側ヲ開放スル

ニ努ムベシ

第四章 敬言戒ニ關スル事項

第二十條 戦事司令ノ所洞窟各入口、敬言戒担任区

分ヲ左ノ通定ム

第一、第三及第五坑道入口

軍司令部新

第四坑道入口及同枝口

山兵團司令部

敬言戒要領及方法ニ関シテハ軍管理部長ノ統

制下ニ各部隊ノ衛兵長ニ於テ計画實施スルモノ

シ身ヲ以テ其責ニ任スルモノトス

第五章 衛生ニ關ル事項

第一條 壕内生活持續ニ伴ヒ特ニ左記事項注

意且ツ實施スヘシ

一 起床時及就寢前努メラ毛布類蚤取り

ヲ實施スルコト

二 壕内ニ於テハ生活情況不規則トナリ易キ

ヲ以テ作戰上必要ナル以外ハ努メラ生活ヲ規

正シ睡眠攝食節制ヲ保ツコト

3. 日光不足ハ生活ヲ益シ消極的ナラシメ此紫外線
 不ヨクヲ伴ヒビタミン類ニ層必要トスルヲ以テ
 給養ヲ適正ニシ脂肪生野菜ノ補給ニ努ムルヲ
 4. 炊事ハ常ニ消毒液ヲ設置シ炊事勤務者ノ手
 指消毒ヲ勵行スルコト
 5. 通射燈火ハ眼ヲ刺戟シ壕内ノ塵埃ト相俟ツテ
 結膜炎其他眼病ヲ誘及スルヲ以テ成ル可ク
 擴散光源ヲ利用スルニ努ム不要ノ場合ハ消燈
 若クハ遮光ヲ十分ニ行フト共ニ洗眼ヲ實施スルコト
 又電燈以外燈火ハ燃焼瓦斯ニ依リ空氣ヲ汚
 染スルヲ以テ不要電燈ヲ放置セザルコト
 6. 不慮外傷ノ豫防ニ留意シ輕ナル創傷雖
 モ早期ニ治療スルヲ受クルコト 然ラザレバ化濃ヲ来シ
 或ハ創傷傳染病ヲ誘發スル虞アレアリ

- ノ壕内ハ勢ト過剰ニ候息ツク空氣ヲテシテ込ホシ呼吸器殊ニ鼻咽喉ヲ冒シ易キヲ以テ含嗽ヲ勵行ス
- 8 時日、經過ト共ニ歪風ノ發生甚シキモノアルヲ以テ身体衣服ノ保清ヲ圖ルコト
- 9 壕内ノ清潔整頓ニ努ムルコト
- 10 諸事節制ヲ旨トシ体ノ保持増進ニ努ムルコト
- 11 壕内噴氣ノ障得セサル様トシ出入口通路ヲ停止セザルコト
- 12 節煙ヲ努ムルコト
- 13 壕内ニ於テ大小便ノ排泄或ハ盥シニ放痰セザルコト
- 14 壕内ニ痰壺箱ヲ常置置シ置ク
- 15 軍医ハ各室外ニ於ケル温度並ニ一ニテ斯狀ヲ檢知シ毎日午前午後、二回軍醫管理部長ニ報告ス
- 16 蠅叩キツ一人ニ付キ一ツ宛備付蠅ヲ見付次第撲

減るル

乃蒙突入口ヲ清潔ニシ殘飯殘菜塵埃ヲ放置セサル

第三三條 洞窟内ニ於ケル健兵対策ヲ左ノ通定ム

ノ點呼後五分間乾布麻手擦ヲ實施ス

之夜間勤務者ニ夜間喫食セシム晝間ハ喫食セシム

晝間ハ專ラ睡眠休務セシム

第六章 防諜ニ關スル事項

第三三條 防諜上下士官兵軍屬(囑託雇傭人ヲ含ム)ニ對シ

ル而會フ一切禁止ス 又軍屬(囑託雇傭人ヲ含ム)ノ單独

哨録ヲ通過ヲ禁止ス

第七章 瓦斯防護ニ關スル事項

第三三條 軍戰鬥命令所瓦斯掛將校ハ各坑道

口附近ニ瓦斯兵ヲ集中置シ瓦斯ニ關スル警戒ニ
任スルモノトス

第三五條 瓦斯防護施設ニ關シテハ戰訓速報第五

號ニ基キ瓦斯防護將校之ヲ統一施設スルモノトス

第三六條 瓦斯警戒ハ通常瓦斯兵ヨリ發シ最モ速

速ナル方法ニ依リ大聲「ワ」以テ「ガース」ト呼稱シ壕内全

般ニ傳達シ速ニ防護面ヲ装着ス

之ガ為防護面ハ壕内ノ辺ニ準備シ置クモノトス

第八章 其他

第三七條 各出入口ノ偽裝ハ絶ヘズ補備増強シ各坑道

入口ノ秘匿ニ努ム、之カ為將校ヲ長トスル所ヲ偽

裝班ヲ編成シ毎日敵彈ノ間隙ヲ利用シ補備増強

セシムルモノトス

其、担任区分左ノ如シ

第一—第三及第五坑道入口附近
第四坑道入口及同枝口附近

軍司令部
山兵團司令部

配布先		配布区分	
部数	配布先	部数	
三	山兵団司令部	一	
二	鈴木兵団司令部	一	
二	第三野戦軍隊	一	
一	軍参謀部	一	
一	(事務室)	一	
一	(情報)	一	
一	(後方)	一	
一	(航空)	一	
一	(電報)	一	
一	(文書)	一	
一	(監視)	一	
一	予備	一	
一	軍医部	一	
一	軍管理部	一	
一	(無線)	一	
一	軍通信隊	一	
一	軍情報隊	一	
一	航空通信	一	
一	第二中隊	一	
一	特務第一中隊	一	
一	防務隊本部	一	
一	防務隊本部	一	
一	部数	一	
合 計 三 十 三 部			

1699 121

洞窟内入浴場使用区分別表

別注 軍戦士自弁 山兵團司令部 金木兵團 摘 要

月 ○

火 一節(午前) ○

水 ○

木 ○

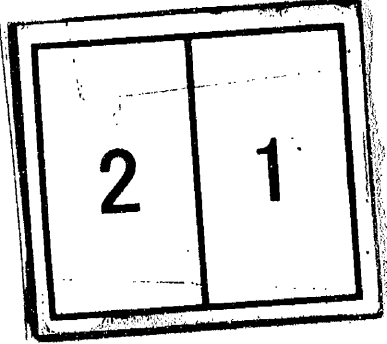
金 ○

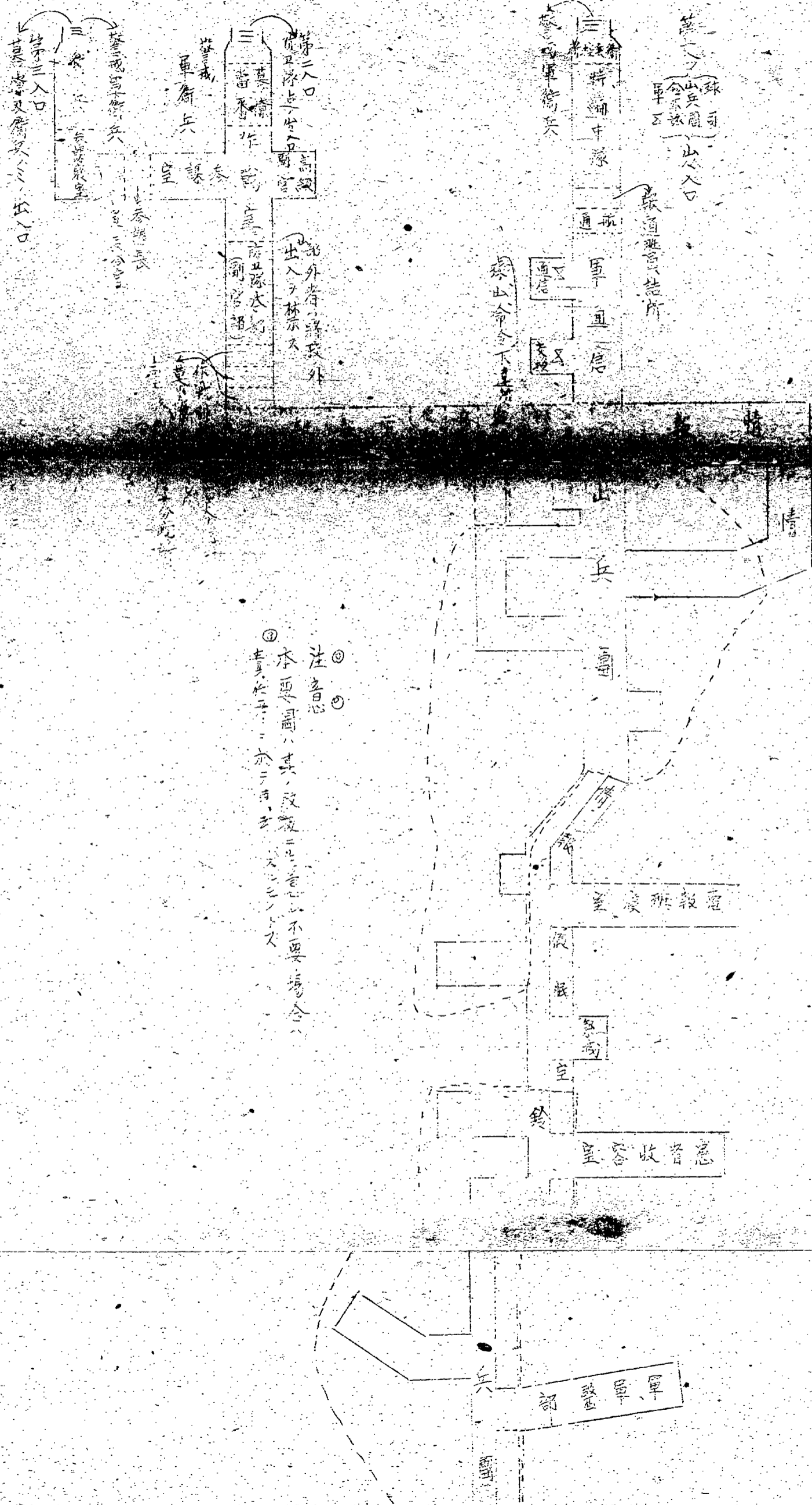
土 ○

日 各部隊(官軍)本部山 谷本 前兵團司令部 野戰築城隊(女産婦人)

備 八入浴区分及時間、就當管轄其部隊ニ於テ別表スモノトシ、當該部隊ハ入浴常用ノ時
左ニ下ニ官一兵ニラ差支、原中尉、指揮ヲ受クミルモノトス
又入浴時間ハ九時、ノ翌朝七時迄トス
考 一、同同時、入浴トシテ、所西齋前、ハ十九分トス
又、〇印ハ入浴月ヲ示

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	天、巖戸戦閣司令所配置要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



① 注意
 本要圖ハ其ノ段取ニテモ心ニ不要場合ハ
 主其ノ下ニ於テモ其ノ段取ニテモ心ニ不要場合ハ

注意
不要
場合

皇 後 班 報 署

後 班 報 署

皇 城

鈴

皇 宮 收 者 意

軍 醫 部

兵

醫

軍 醫 部 長 官

野 築 部

山 部 隊

軍 官

將 官 及 幕 僚
入 谷 場

炊 事 場

警 衛 隊
軍 兵

交 電 所

山 部 隊 便 所

交 電 所

一 般 浴 場

第 一 軍 團 入 口
道 口

山 部 隊 便 所
山 部 隊 入 口

山 部 隊 便 所

山 部 隊 入 口